

## 第27回東海外来小児科学研究会開催のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、この度下記の要領にて第27回東海外来小児科学研究会を開催します。例年通り後期研究会はワークショップ（以下WS）での開催となります。

WSのテーマとしては医科向けに食物アレルギー、学校医、発達障害の3題、コメディカル向けに予防接種1題の計4題です。皆様の理解を深め、よりよい診療に生かして頂ければ幸いです。参加は東海外来小児科学研究会・外来小児科学会員に限りませんので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

敬白

### 【開催要綱】

日時：平成26年10月26日（日曜日）  
13時30分～16時30分（13時開場）  
会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち  
1305・1206・1309・1310会議室

〒450-0002  
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38  
TEL: 052-571-6131  
FAX: 052-571-6132  
<http://www.winc-aichi.jp/>



### 【WSのテーマ】

- 1 外来で食物アレルギーを診る・食物経口負荷試験を中心に（1309 会議室）
  - 2 学校医のあり方（1306 会議室）
  - 3 発達障害の理解を深めるために～体験によってあなたも検査の理解に自信ができる！  
発達検査 WISC-IVを体験しよう～（1305 会議室）
  - 4 メディカルスタッフによる予防接種の支援と工夫  
～すべての赤ちゃんにHBワクチン接種を勧めましょう～（1310 会議室）
1. 当日参加費として、会場費（医師の方は2000円、コメディカルの方は500円）、WS運営費（備品レンタル料、資料代等）を各WS受付で申し受けますのでご了承ください。
  2. 当日の受付開始は13:00 からです。WS の開催時間は13:30～16:30 となります。
  3. 原則として当日参加は可能ですが、会場の都合上定員以上になった場合参加できないことがあります。資料準備などの都合もありますので、なるべく事前登録をお願いします。
  4. 今回も総合討論はありません。次回研究会の案内はWS 終了後にリーダーから致します。
  5. 日本小児科学専門医制度研修集会として3単位が取得できます。

東海外来小児科学研究会世話人

愛知県（担当県）	大西正純（代表）	北條泰男	鈴木研史	近藤康人	千原 克
	川井 進	松川武平			
岐阜県	矢嶋茂裕	若園明裕	中島俊彦	蜂谷明子	
三重県	落合 仁（会計）	稲持英樹	梅本正和	種田 寛	近藤 久（事務局）
	上荷裕広				

## WSのテーマ

4題のWSテーマのご案内です。

参加申し込みの管理は各WSのリーダーが行います。

参加希望の方は参加希望のWSの連絡先へ直接ファックスしてください。

ただし、WS 1のみサブリーダーの近藤宛に連絡をしてください。

参加申し込みの締め切りは平成26年9月30日（火曜日）です。

### お問い合わせについて

各WSへのご質問は直接WSのリーダーへお問い合わせください。

東海外来小児科学研究会全体へのご質問は

事務局： 三重県桑名市星見ヶ丘3-203-1 近藤小児科医院 近藤久

☎0594-32-5551 FAX 0594-32-5558

e-mail: [gairaikondo@amail.plala.or.jp](mailto:gairaikondo@amail.plala.or.jp)

へお願いいたします。

## WS－1 (1309 会議室)

### テーマ 「外来で食物アレルギーを診る・食物経口負荷試験を中心に」

リーダー： 寺田明彦（てらだアレルギーこどもクリニック・院長）

サブリーダー：近藤久（近藤小児科医院）

コメンテーター：藤澤隆夫（国立病院機構三重病院・副院長）

食物アレルギーの診療は、詳細な病歴の聴取を行い、血液検査等を参考に、食物経口負荷試験（以下OFC）により、正しい診断に基づいた必要最小限の食物除去と栄養指導が重要です。

積極的に食物アレルギー診療に取り組むためには、OFCは不可欠と考えられますが、開業小児科医にとってはリスクの高い検査であることも事実です。

今回のWSでは、外来でOFCに取り組んでおられる先生方から、外来OFCの適応、リスクマネジメントを含めた具体的な検査方法や工夫についてお話いただき、病診連携や栄養指導についても議論できればと考えています。

コメンテーターの藤澤隆夫さんからは、特異的IgEのコンポーネント診断や

プロバビリティーカーブ（血液検査から負荷試験の陽性率を推測）による診断についてもお話していただく予定です。

多数の会員の先生方の参加をお待ちしております。

## WS－2 (1306 会議室)

### テーマ 「学校医のあり方」

リーダー 松川 武平（愛知県名古屋市）

サブリーダー 佐々木 邦明（愛知県名古屋市）  
サブリーダー 駒田 幹彦（三重県鈴鹿市）  
コメンテーター 後藤 正己（名古屋市学校医会会長）

新しく制定された学校保健安全法第九条で保健指導に従事する事が学校医に義務付けられて居ります。  
学校医の役割として文部科学省は「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」という冊子の中で学校医の役割として下記の事が記載されています。

①子どものメンタルヘルスについて医療的な見地から学校を支援する。②学校と地域の医療機関等へのつなぎ役になる。③健康診断等から、児童虐待等の早期発見に努める。④専門的な立場から健康相談、保健指導を行う。⑤学校保健委員会に参加し、専門的な立場から指導・助言をおこなう。

学校医の職務は大きい物となっております。特に①については、近年増加してきている発達障害児への対応など問題が色々あるかと思えます。また②、③についても今まであまり関わってこなかった事柄と思えます。

そこで、学校医がどの様に学校を支援していけばいいのか考えてみたいと思えます。

学校保健に関心のある先生、是非参加下さい。

つきましてはアンケートを作成しました。ワークショップでの資料とさせて頂きたいと考えております。参加されない先生も是非ご回答下さい。何卒宜しくご協力下さい。

## WS - 3 (1309 会議室)

### テーマ 「発達障害の理解を深めるために

～体験によってあなたも検査の理解に自信ができる！

発達検査 WISC-IV を体験しよう～

リーダー 蜂谷 明子（岐阜県恵那市）  
サブリーダー 梅本 正和（三重県津市）  
テスター&コメンテーター 川瀬 正裕（金城大学教授）

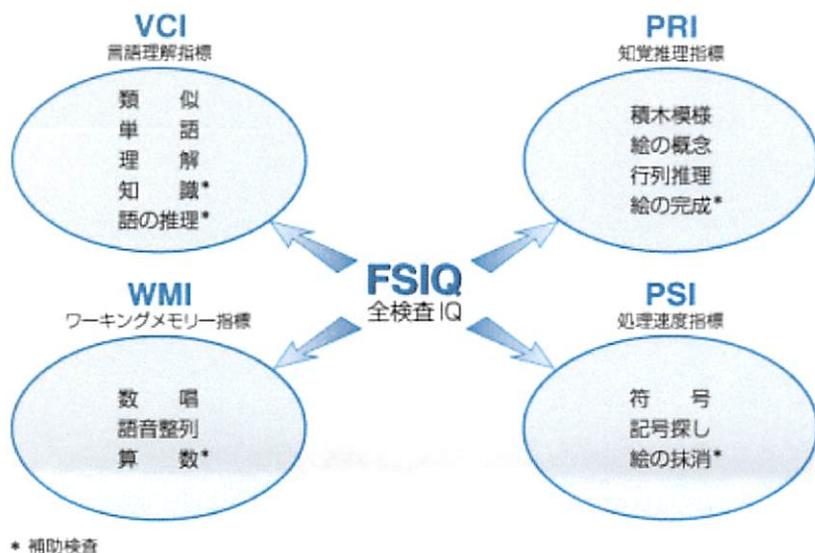
研修型のワークショップです。私達は発達障害をはじめとする個性や特性が強い子ども達に、診察室や学校や健診現場などにおいて多く接します。その子ども達の多様な姿に、保護者や幼保学校現場は対応に困難感を持ち疲弊した状況を感じることも少なくないでしょう。発達障害が社会的にも認知が広がり、小児科現場において相談や支援を求められることも多くなっています。

今回はそういった子ども達を理解するために、WISC-IVの受験体験を金城大学 人間科学部 多元心理学教授の川瀬正裕先生にテスターをお願いし、さらにテストバッテリー（発達検査や心理テストなどを2種類以上組み合わせることで、子どもの特性の理解をより深める目的で）を組み合わせ頂き、子ども理解のためのレクチャーをお願いしました。子どもが受ける検査の体験を通して、知識と柔軟な思考を持つための一助となるWSを目指します。

尚、当日は検査用紙などの実費の関係上 2500 円集金させて頂きます事を御了承下さい。受験して頂いた WISC 用紙他の資料はお持ち帰り頂けます。

受験には少人数での環境が必要なため、先着 25 名までとさせて頂きます。

そのため、WISC-IVの知識がある方、受験経験のある方はまだ経験のない方にお譲り下さいますようお願いいたします。ご参加に関して、そして当日の詳細スケジュールなどはメールかファックスでお伝えさせて頂きますので返信希望の記入をお願いします。



## WS-4 (1310 会議室)

テーマ 「メディカルスタッフによる予防接種の支援と工夫  
～すべての赤ちゃんにHBワクチン接種を勧めましょう～」

リーダー： 土屋 千枝（看、川井小児科クリニック、日進市）

サブリーダー：西村 美鈴（看、近藤小児科医院、桑名市）、

下地 富士子、酒井 まゆみ（看、松川クリニック、名古屋市）、

西川 美緒（事、落合小児科医院、亀山市）

コメンテーター：菊池 均（名鉄病院 予防接種センター）

1) 近年、予防接種の種類と接種回数が増え、私たちメディカルスタッフも予防接種に関する業務が多くなりました。

予防接種の普及は大切なことですが、各医療機関で予防接種の間違いが多くなり 25 年度の愛知県予防接種事故発生件数は 448 件と報告されました。

予防接種のうっかりミスは予防接種に対する信頼を失います。間違いのないように医師、看護師、事務員の立場で、さまざまな工夫がなされていると思います。他院のそうした工夫を教えていただき、自院の予防接種業務の参考にするのはとても有益と思います。

予防接種ミスを防ぐために、どのような工夫、チェックが必要か話し合いたいと思います。

2) 皆様方の医院では HB ワクチン接種率は向上しましたか？

予防接種専門の先生から HB ワクチンについてお話していただき、HB ワクチン接種の必要性を再確認しましょう。そして、すべてのあかちゃんにメディカルスタッフとして HB ワクチン接種を勧めましょう。

## 東海外来小児科学研究会会員の皆様へ

東海外来小児科学研究会  
世話人会

東海外来小児科学研究会の会員名簿が古くなって支障を来すようになってきたため更新させていただきたいと思っております。お手数をおかけいたしますが、以下に必要事項と今後の研究会のご案内の送付方法をご記入の上、ファックス又はE-mailでご返信をお願いいたします。

又、日本外来小児科学会は日本を3地区に分け順番に年次集会を開催しています。今回、東海地区が2017年の当番地区となり第27回日本外来小児科学会年次集会を三重県で開催する事となりました。会長は三重県亀山市・落合小児科医院の落合仁さんが務められます。医療の変革がめざましい中、小児医療を支えていくという点で、外来小児科学会の果たす役割はますます重要と考えられます。東海外来小児科学研究会会員の皆様におかれましては格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

氏名	
所属	
Email	@
連絡先住所	〒
電話番号	
ファックス番号	

(案内等送付方法 : Email ・ 郵送 )

F A X 送信先 0594-32-5558

E-MAIL 送信先 gairaikondo@amail.plala.or.jp

(近藤小児科医院宛)